

ダブルシールバルブキャップ取扱説明書

必ずお客様に
お渡しください

製品概要

ダブルシールバルブキャップの交換や取り外し・再装着については、取扱説明書をよく読み、お取り扱い下さい。タイヤローテーション時など使用後に取り外し再装着する場合は、取扱注意点をよく読み対処して下さい。

ダブルシールバルブキャップを装着することで、タイヤバルブを2重弁化する事によりエアシール性を確保しながら取り付けられた状態で、タイヤの空気圧点検と充填が出来ます。

交換時期

- ・ **タイヤ交換時**または**バルブ交換時**には**新品に交換**して下さい。
- ・ **取扱注意点**をよく読み、**空気漏れ**など製品に故障や異常が確認出来る場合は**新品**に交換して下さい。
- ・ **上記に添わない場合**でも、**2年**を使用の上限として下さい。

取扱注意点

【使用時】

- ・ **高压洗浄機器で車両洗浄される場合**、直接ダブルシールバルブキャップへ、水及びスチームを当てないで下さい。
圧力によりバルブコア(図1)が押され**空気漏れ**が発生する可能性があります。
- ・ **タイヤ内部**に注入する粉状の**バルンサー**(イコライザー・イコール等)とダブルシールバルブキャップは併用しないで下さい。**空気漏れ**を引き起こす可能性があります。

【再装着時】

- ・ 再装着にあたっては、**取付手順**をよく読み、取り付けてください。
- ・ 内部シールグロメット(図1)が無い場合や内部シールグロメットが劣化した場合、バルブ装着時に締め込み過ぎによりバルブコアが押され、**空気漏れ**が発生する可能性があります。**内部シールグロメットに異常の疑いがある場合は、必ず、新品に取りかえて下さい。**

<内部シールグロメットが劣化しているかの確認>

- 1, **ダブルシールバルブキャップは、タイヤパンク状態での走行等タイヤ異常時には、空気漏れを防ぐ安全機構が働く可能性があります。**
- 2, **安全機構が働いたダブルシールバルブキャップは、内部のシールグロメット(図1)がバルブに融着しているか溶けて変形しています。**
再装着前に、必ず内部シールの融着・変形がないか確認して下さい。
- 3, **内部シールの融着・変形が確認出来た時は、必ず、バルブコア及びダブルシールバルブキャップを新品に交換して下さい。**

取付手順

取扱注意点を必ずよく読み、適切に取り付けて下さい(**タイヤ専門店等に依頼し、行って下さい**)。特に、**空気漏れがないか、内部シールグロメット(図1)に異常がないか**について注意して下さい。

1,バルブキャップを取り外して下さい。

バルブ先端が汚れている場合は、清掃して下さい。バルブキャップが無い場合は、バルブコアを交換するか清掃して下さい。
その上で、バルブコアを2~3秒間押し、コア付近のゴミを吹き飛ばして下さい。

2,ダブルシールバルブキャップの装着。

ダブルシールバルブキャップを装着する。
ダブルシールバルブキャップをバルブに閉め込んで下さい。
装着前に**ダブルシールバルブキャップの内部シールグロメットの有無と劣化を確認**して下さい。

3,空気漏れ確認。

タイヤ空気を規定空気圧にして下さい。バルブとダブルシールバルブキャップの接合部(図2)に**空気漏れ**が無い、石けん水などで確認して下さい。また、**ダブルシールバルブキャップ先端部(図2)の空気漏れ**を確認して下さい。

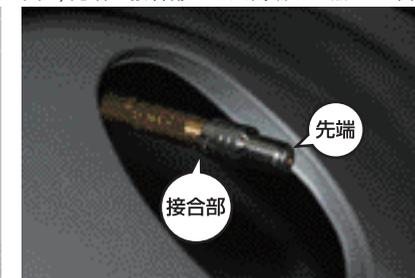
- ・ 空気充填時、ダブルシールバルブキャップを緩めてしまうことがあります。
装着時、運行前点検時(調整後も)及び使用時には、**ダブルシールバルブキャップの接合部(図2)の緩みがない事及び空気漏れが無い事**を確認して下さい。
- ・ **空気漏れがある場合は、装着を中止し新品に交換して下さい。**

図1,ダブルシールバルブキャップシールグロメット有無確認



右：シール無し。シールが無いので矢印部分が凹んでいます。
左：シール有り

図2,先端と接合部から空気漏れが無いか確認



ALLIGATOR JAPAN 株式会社

Telephone 06(6612)8000 Telefax 06(6612)8890



〒559-0034 大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル ITM棟3F J-2

info@alligator-ap.jp